

株主各位

第 43 期定時株主総会へのご出席御礼

2023 年 6 月 27 日に開催いたしました「定時株主総会」、また総会終了後に開催された「経営近況報告会」には約 60 名の株主様のご来場を賜り、誠にありがとうございました。本総会および経営近況報告会では、ご出席の株主様から多くのご質問をいただき、各担当取締役から回答を差し上げましたので、その主な内容をご報告いたします。

[問] 招集通知の 11 ページに、「従業員数 41 名、6 名増」という記載あるが、今後はどのように考えているか。

[答] 今、募集をかけており、増やして行きたいと考えているが、具体的な数字は決めていない。中国でも事業拡大に伴い幹部候補の募集も行っています。何人増やすということではなく、その時の状況に合わせて募集していく予定です。

[問] 殆どの株主が、ナノマテリアル事業がどうなるのかということが一番気になっていると思うが、実際にどういう物なのか、製品化されたものを見る機会がない。製品を見せてもらえないか。

[答] 製品につきましては、展示会でご覧頂くしかない。
本日、少し展示物があるので、そちらをご覧ください。

[問] 東京大学の横関先生の発表で、アルメディオの素材を使い、自動車部品として適用できたと言っているが、実証実験の真偽をお聞きしたい。

[答] 横関先生とは委託研究をしていることは事実ですが、内容を特化してお話するというよりは、我々も既に内容は知っています。
当社はサンプルを提供して横関先生が評価しているというのが実態です。車用に特化した話ではありません。

[問] ナノマテリアルで事業構造を変えていきたいということはわかるが、3ヶ月に一度数百万円売れたということくらいしかわからない。「たくさん」「多く」といった表現ではなく、サンプルを出した顧客数の前年比など、具体的な数値を出してほしい。
株価を上げようにも3ヶ月に一度の売上報告があるだけでは何もわからない。

[答] 航空宇宙、自動車、半導体産業など、サンプルを出させていただいているが、評価の段階は、お客様によって違います。可能な限りわかりやすく株主様にお知らせするようになりたい。

[問] ナノマテリアル事業に期待している。半導体産業での採用や最終段階のスケールアップテストを行っていることなどの報告はあるが、御社の記載は「少量」という表現など控えめ過ぎるのではないのでしょうか。

また、あとどのくらいで採用を見込んでいるのでしょうか。

[答] 「少量」という表現について、ご不満をお持ちの株主様がいらっしゃることは承知しております。申し訳ございません。

半導体での採用となりますと非常に大きな市場を想像され、期待値から株価が急騰し、売上高に反映されなかった時の株価急落を懸念し、業績に与える影響が軽微であることをお伝えしたかったのですが、表現が適切ではなかったかもしれません。大変申し訳ございませんでした。今後は、より適切な表現をするよう努めて参ります。採用の時期につきましては、早いところでは1~2年と見ていますが、車や航空宇宙など命に関わる分野での採用は時間がかかると見ています。

[問] IRが少なすぎる。三菱重工との特許が公開されたときもIRがなかった。三菱重工との特許では何を狙っているのか。

[答] 中身については、秘密保持契約もありますので、共同出願した公開特許を見て頂くしかありません。

今回は、特許出願したものの公開ですのでIRは出していませんが、権利化された場合には、IRを出す予定です。

[問] ISO9001の取得をするようだが、他のISOも考えているのか。

[答] ISO取得が条件であるお客様もありますので、まずは9001からと考えています。

[問] スポーツ、レジャーは、最終的にどのあたりを狙っているのか。具体的に教えて欲しい。

[答] 相手があるので、具体的にはなかなか難しいが、比較的早く採用が得られる業界であると考えています。

[問] 古田化成とタグを組んでやっていると思って良いか。

[答] 古田化成様とお取引はありますが、タグを組んでいるというわけではありません。

[問] 昨年の中期経営計画ではドローンや空飛ぶ車の将来予測が出ていたが、今年はない。可能性がなくなってしまったのか、それとも進んでいるのか。

[答] 時間が経つにつれて、言えないことが多くなってきており、大変歯痒いところです。何かしらのお知らせができるよう努力しておりますが、今の段階では、四半期毎の決算発表の売上や事業の説明の中で見ていただければと思います。

[問] 2026年3月期のナノマテリアルの売上が7.8億円となっているが、この時の工場の稼働率をどう想定しているか。

[答] その中に複合材も含まれているので、フル稼働ではないと考えています。

[問] 電池関連は、昨年20件と言っていたが、今は何件あるのか。電池関連を期待して良いか。

[答] なかなか結果を頂けていないが、新しいお客様も増えています。期待していただいて結構です。

[問] 社長の説明の中で「還元」という言葉が出てきたが、具体的にいつくらいになるか。

[答] アルメディオ単体で利益剰余金がプラスにならないと復配できないので、とにかくアルメディオ単体で黒字化し、利益剰余金をプラスにしたい。その上で、新規事業への更なる投資も考えているので、そのバランスを考えながら復配したいと考えている。

以上でございます。

数々のご質問をいただき、ありがとうございました。

今後も、株主総会・経営近況報告会を株主様と経営陣の対話の場と位置付け、オープンに運営をしてみたいと存じます。

次回はより多くの株主の皆様とお会いできることを期待しております。

役職員一同、社業の発展に邁進する所存でございますので、引き続きのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月28日
株式会社アルメディオ
代表取締役社長
高橋 靖